時事新報

明治十八年六月廿九日（西暦一千八百八十五年）
月曜日
第千七號
日曜日休刊
（定價三錢）

公　報

○陸軍省甲第三十二號（前號の續き）○第三十一條　凡地所ヲ要スルニ當リ陸軍卿ヨリ其所用ノ事由地積ノ數及ヒ略圖等ヲ下付セラレ測量ノ命アルトキハ最近先ツ其地方廳ニ商議シ次テ官僚ヲ派出シ地方官ト共ニ實地ニ就キ該郡區長及ヒ戸長ヲ會シテ地所ヲ點検シ其經界ヲ明瞭ニセル實測圖ト景況書ヲ作リ又屋舍及ヒ樹木石礫等アルトキハ其員數ヲ査覈シ一々之ヲ記載シ買上代價等ハ例規ニ基キ又官有民有地ノ區別其他受領ノ順序等ヲ調査セシム可シ而シテ提理ハ此調査書ニ據リ買上代價等ヲ擬テ之ヲ適當ト認ルトキハ其圖面書類及ヒ地方廳ノ意見書等ヲ添ヘ陸軍卿ニ申報ス可シ○第三十二條　地所受領ノ命ヲ受レハ提理其地方廳ニ移牒シ官僚ヲ派出シ地方官若クハ該地所有主ニ實地ニ會シ前條ノ圖面調査書ニ照シ其境界ヲ確定シ又屋舍及ヒ樹木石礫等アルトキハ其員數等ヲ一々査覈シ然ル後交受ノ局ヲ結了ス可シ但前條及ヒ本條ノ場合ニ在テハ時宜ニ依リ方面ノ官僚ヲ派出セス所管ノ司令官ニ稟議シ該地所在ノ營舍主管ヲシテ其事務ヲ辨理セシムルヿアル可シ○第三十三條　交受了ルノ後提理ハ其所用ノ目的ニ應シ日ヲ期シテ之ヲ測量シ繪圖ヲ製シ又家屋樹木ノ有無等ハ別記ニ詳明シテ之ヲ陸軍卿ニ申報ス可シ○第三十四條　其後來城堡若クハ海岸砲臺ヲ築クヘキ地所ニシテ速ニ測量シ難キモノハ其築設ノ緩急ニ因リ測量ノ人員ヲ定メ時日ヲ期シテ事ニ從ハシム可シ○第三十五條　凡ソ地所ノ測量其境界内ハ專ラ方面ノ擔ル所タレハ最モ精密ヲ要ス可シト雖モ之ニ連帶セル樹用丘陵海面村落寺社等ノ如キニ至テハ別ニ陸軍卿ノ命ヲ受クルニ非サレハ只其種概ヲ擧ケテ足レリトス○第三十六條　地所ノ既ニ陸軍管轄トナルモノハ官僚ヲ派遣シ之ヲ管掌セシム可シ然レトモ其未タ建築ノ用ニ供セス或ハ境界内ニ家屋樹木等妨害ノ虞ナキトキハ近隣ノ居民ニ約束シテ之ヲ監守セシムル等便宜ノ處分ヲナシテ然ル後之ヲ報告ス可シ○第三十七條　凡ソ地所若クハ屋舍等ノ姑ク其用ニ供セサルモノニシテ一時貸渡ヲ願フ者アルトキハ例規ニ準據シ陸軍卿ノ許可ヲ得テ借料ヲ課シ貸渡スヿアルヘシ○第三十八條　城堡及ヒ海岸砲臺等攻守ノ利害ニ關スル建築ニ在テハ陸軍卿其圖式法按ヲ定メ方面提理ニ下付スルヲ例トス但臨時建築署ニ下付スルモノハ此限ニアラス○第三十九條　方面提理之ヲ受レハ部下官僚ヲシテ實地ニ就キ其圖式法按ニ則リ建築ノ方法材料ノ運搬職工ノ種類役夫ノ多寡等ヲ擬定シ計算按ヲ作リ陸軍卿ニ呈ス可シ○第四十條　其金額度支ノ方法既ニ決スレハ陸軍卿再ヒ之ヲ提理ニ下シテ事ニ從ハシム而シテ提理ハ工役長以下專務ノ員ヲ定メ材料ノ使用ヨリ職工役夫ノ配賦ニ至ルマテ悉ク其方略ヲ示授シ以テ事業ニ就カシム可シ但工役長以下專務ノ員ハ陸軍卿ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム可シ

（以下次號）

○東京府甲第四十四號　伊豆七島小笠原島ヲ除ク

土地所有者ニシテ其土地所在ノ區役所戸長役場所轄内ニ居住セサルトキハ地租地方税備荒儲蓄金區町村費ヲ納ムル爲メ代人ヲ定メ土地所轄ノ區役所戸長役場ヘ屆出ヘシ

右布達候事

明治十八年六月廿七日　東京府知事渡邊洪基

東京府甲第四十五號　伊豆七島小笠原島ヲ除ク

醬油卸（問屋又ハ仲買ヲ總稱ス）又ハ小賣營業ヲナスモノ及ヒ醸造スルモノハ其時々屆出ヘシ但現在ノ營業者ハ本年七月三十日限リ屆出ヘシ

自家用料ノ醬油ヲ製造セントスル者ハ左ノ書式ニ準シ毎年一月三十一日限リ屆出ヘシ但本年ハ七月三十一日限リ屆出ヘシ

（書式略ス）

右布達候事

明治十八年六月廿七日　東京府知事渡邊洪基

叙　任

○明治十八年二月十二日
任三等警視　陸軍省出仕　黒瀬貞次

○明治十八年五月十八日
任屯田兵少佐　屯田兵大尉　正七位勳四等　鐵森泰慶
仝　仝　仝勳五等　覺城重雄
仝　步兵大尉　仝勳四等　本田親秀
任步兵大尉　步兵中尉　從七位勳六等　山崎萱次郎
仝　仝　仝　仝　中居安行
仝　仝　仝　仝　脇山暢
仝　仝　仝　余語征信
仝　仝　仝勳六等　面高俊一
仝　仝　仝　内藤新一郎
仝　仝　仝勳六等　内藤基
仝　仝　仝　宮淵伊三郎
仝　仝　仝勳六等　長和道生
仝　仝　仝　岩尾惇正
仝　仝　仝勳六等　齋藤正貫
任步兵中尉　步兵少尉　正八位　榊原忠誠
仝　仝　仝　井口五郎
仝　仝　仝　栗飯原寛
仝　仝　仝勳六等　梅谷梅吉
仝　仝　仝　清水金生
仝　仝　仝勳六等　高橋小十郎
仝　仝　仝　貴志典正
仝　仝　仝　服部直彦
仝　仝　仝　岩崎正勝
仝　仝　仝　林太一郎
仝　仝　仝　足立武政
仝　仝　仝　吉田源之助
仝　仝　仝　齋藤總三郎
仝　仝　仝　矢牧好
仝　仝　仝　飯田英三
仝　仝　仝　及川勢太郎
仝　仝　仝　本郷房太郎
仝　仝　仝　三橋育成
仝　仝　仝　宮野則凭
仝　仝　仝　神谷昌景
仝　仝　仝　高橋利安
仝　仝　仝　景山直明
仝　仝　仝　大澤界雄
仝　仝　仝　吉田貞
仝　仝　仝　久野燦
仝　仝　仝　上原備英
仝　仝　仝　鈴木五一郎
仝　仝　仝　岡市之助
仝　仝　仝　菊地成
仝　仝　仝勳六等　猪坂順進
仝　仝　仝仝　横山軍治
仝　仝　仝　落合寛太
仝　仝　仝　澤崎正信
仝　仝　仝　河合源達

時事新報

宗教不問ノ大義ヲ忘ル可ラズ

我輩ハ前日ノ紙面ニ於テ我國ノ寺制ハ所謂海月寺制ニシテ文明社會ニ適セザレバ今日耶蘇教東漸ノ折柄、單ニ我宗教家ノ身上ヨリ考ヘタラバ今ニ及ンデ大改革ヲ施シ以テ其ノ滅亡ヲ防クコト肝要ナレトノ次第ヲ論ゼシ宗教ニ及ビタル其序ニ事ハ全ク別物ナレドモ其宗教上ニ關係アルノ縁由ヲ以テ爰ニ一言セント欲スルモノアリ何ゾヤ我國ノ法律上ニテ宗教不問ノ大義ヲ忘ル可ラザルヿ是ナリ抑モ今日ノ理論ニ於テ政治法律ハ形ニ現ハレタル形以下ノ部分ヲ支配スルモノニシテ宗教ハ幽冥無形ヲ以上ノ心事ニ渉ルモノナレバ政教ハ別途、固ヨリ相關係スル所ナシト云フモノ、目下歐米諸國ノ實際ヲ見レバ未タ必ズシモ然ラザルモノアリ尤モ彼ノ羅馬ノ世ニ耶蘇教ノ教義ニ歸依セザル者ハ遺物ヲ受ケ財産ヲ相續スルノ權利ヲ失ヒタルガ如キ又佛國大革命前ニ新教ノ信者ニハ佛國民籍ニ入ルヲ許サズ羅馬舊教ノ非信者ニ佛國民タルノ全權ヲ與ヘザリシガ如キ宗教ノ如何ヲ問フテ民人ノ權利ヲ左右スルノ時代ハ既ニ過キ去リタルガ如クナレドモ仔細ニ歐米ノ制度法律ヲ解剖スレバ宗教ノ胎毒今尚ホ左腹ニ浸潤シ居ル所ナキニ非ズ例ヘバ佛國ノ法律ニ官許ヲ得タル宗教ノ會堂ヲ汚損シタルモノハ何々ノ刑罰ニ處ストノ精神ヲ含ミタル個條アレド佛國ニテ官許ヲ得タル宗教ト云ヘバ即チ羅馬舊教ナルガ故ニ羅馬舊教ノ會堂ヲ汚損シタルモノハ法律ノ明文ニ據リ何々ノ刑罰ニ處セラル可シト雖ド羅馬舊教外ノ教會堂ハ如何、之ヲ汚損スルモ無罪ナランカ將タ官許ヲ得タル教會堂ノ例ニ準ス可キ歟法律ノ明文ヨリ見ルトキハ寧ロ無罪ト云フ方相當ナラント論スルモノモアル由ナリ是等ハ宗教ノ如何ヲ問フノ精神ヲ刑法上ニ交ヘタルノ一證ニシテ西洋國人ガ宗教執着ノ痼疾深ク骨髓ニ入リテ容易ニ洗フ可ラザルヲ見ルニ足レリ蓋シ歐洲ノ宗教史ニハ改革戰爭ト云ヒ異教審邏ト云ヒ殺伐ノ事ノミ多クシテ殆ンド流血史トモ稱ス可キ程ニシテ數百年來宗教頑相嫉視シタルガ故ニ宗教ノ如何ヲ問フノ精神法律上マデニ浸入シタルナラント雖モ我日本國ニ於テハ國民ノ性質宗教ニ澹泊ナリシガ爲メ世界萬國ノ宗教史上一種特別ノ生面ヲ開キ歐洲諸國ナド、決シテ同一視ス可ラザルモノアリ意フニ日本人ノ性質ハ宗教ノミニ澹泊ナルニ非ズ昔シノ歐人ガ此澹泊ナルヲ形容シテ旭に香ふ山櫻はなと評シタルガ如ク淸淡ニシテ物ニ執着セザルノ趣致アリ誠ニ支那ノ歷史ナドヲ見ルニ往々ニシテ殘忍ノ所業多ク呉起項羽ノ四十萬卒ヲ坑ニシタルガ如キハ變則トシテ之ヲ算セザルモ春秋戰國ノ頃、髑髏杯トテ敵人ノ頭顱ヲ以テ酒杯ヲ製シタリトノ古例モアリ降テ後世ニ至リテモ民衆奸吏ノ苛政ニ困シムノ餘、之ヲ甕シテ其肉ヲ啖ヒ或ハ父母ノ病ヲ醫スルガ爲メ其子ヲ殺シテ其肝ヲ切リ取ル等ハ往々事實ニ行ハレタリト云ヘドモ日本人中ニハ殆ンド此等ノ類例ナク籠城シテ糧盡キ難船シテ食乏シキノ場合ニ於テモ同僚死人ノ肉ヲ啖ヒタルモノアリトノ談ヲ聞カズ我國人ハ斯ク恬澹ニシテ殘忍ノ實質ナキガ故ニ歐洲諸國ノ先例ノ如ク宗教ノ爭ニ人命ヲ損シタル等ノ事ハ聞キモ及ハズ即チ我歷史上ニ於テハ古來宗教ノ爭論嫉妬ナキガ爲メ宗教ノ異同ニ由テ人間交際ニ故障ヲ存スルヿナク宗教ノ如何ヲ問フノ精神ヲ政治法律上ニ及ボスノ巨害ヲモ免ル、ヿヲ得タリ左レバ古來我國ニテハ宗派ノ區別ニ由テ法律上待遇ヲ厚薄シタルヿナク或ハ偶然ニ厚薄アルカノ如クニ見ユルモノアルモ敢テ之ニ掛念スルモノナキガ如シ即チ我國人ガ宗教上ニ特有スル無頓着澹泊ノ美質ニシテ國ノ治安ヲ維持セント欲スルモノハ此美質ヲ久シキニ續クノ覺悟ナカル可ラズ、聞ク所ニ據レバ我國ニ於テハ目下民法編制中ノ由ナルガ民ノ俗ヲ問フハ立法者ノ最要務ナレバ縱ヒ偏履西洋人中ニ在テ自國法律ノ精神ヲ其儘ニ寫サント企ツルモノアリトスルモ當局審判ノ實ニ任スルモノハ國俗ニ鑑ミテ其取捨スル所ヲ決シ我法律上ニ於テハ古來ノ美風ヲ遂フテ宗教不問ノ大義ヲ忘レザルヿナラン我輩モ固ヨリ斯ク信ズルモノナレドモ言フモノ罪ナクシテ聞クモノ益アリトノ古言ニ基キ宗教論ノ序ニ一發論シ置クヿ爾リ

雜　報

○高島大坂鎭台司令官　は來る七月五日頃より第四軍管々内巡視として大坂を出發する都合なりといふ

○總務局書類委員　内務大書記官山崎直胤、仝白根專一、仝清浦奎吾、仝都筑馨、内務權大書記官大森鍾一、仝久保田貫一、内務少書記官中山寛六郎の諸氏は去る昔…

…六日頃…

○會計局次長　内務…
内務省に於て會計局…

○會計監査官　大藏…
日大藏省に於て日本…
たり

○陸軍兵器　砲兵少…
孰れも左の通り…
砲兵…
補…
當省御用掛被仰付…
准奏任月給金四…
屯田兵本部出仕…
補砲兵第六聯隊…
補士官學校學科提…

○米國領事　米國…
補在留領事に任せ…
通報ありたり

○ミッス　クリヴランド…
の令妹クリヴランド…
よもおさ〳〵劣らぬ…
近頃知己の處へ寄…
よ害あれば斷然之を…
せしよし同嬢は此前…
人民が目下占むる所…
たる事ありと云ふ

○二條離宮　同離宮…
に煤孔まで積み高さ…
間數は六百九十二間…
建築組として受負は…

○貨幣大試驗　大坂…
造幣局遣造幣局長…
帶大試驗を執行した…
と鑄造する毎に一枚…
備あり之れを夫々…
るものなりといふ

○補助銀貨鑄造　大…
鑄造せる由にて此程…
遞廻はしたり

○臨時土木費　大阪…
壞し臨時土木費と要す…
第二項に據り去る廿…
限算金額四萬圓を…

○大砲鑄造器械　今…
入れたる大砲鑄造仕…
來七月上旬より使用…

○器械破損　高島石…
シヤフト（器械の軸…
炭する事は才二周…
れが爲四萬圓内外の…

○稻苗保存の狀況…
して左の如き廣告を…
云ふべし
此程は降雨にて…
場の場所多く植付…
付未濟の場所は…
と待て植付又は…
事必然なれば植付…
の殘苗ある地方に…
又は再植…
義務と以て注意…

○月次輪　目黒の…
所を新鋪せしが布…